

左京はあとふるプラン

ニュースレター第12号

平成27年1月発行／京都市左京区役所地域力推進室



左京区役所では、平成23年度からの10年間のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画)が目指す「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ」まちづくりを進めています。

このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

平成26年度 第2回、第3回 京都市次代の左京まちづくり会議を開催

10月18日及び11月10日に、第2回、第3回の「京都市次代の左京まちづくり会議」を開催しました。第2回会議では、基本計画の中間点検のあり方について話し合いました。第3回会議では、第2回会議の内容をふまえた点検方法の検討と、今年度の取組の進捗状況についての中間報告、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」の来年度予算案についての議論を行いました。



左京はあとふるプラン(左京区基本計画第2期)の点検方法

左京はあとふるプラン(左京区基本計画第2期)は平成23年から10年間の計画ですが、来年度は、中間年の5年目を迎えるため、計画の進捗状況について点検を実施する予定です。それに向け、今年度は、計画の点検方法について検討し、以下のとおり来年度の点検を行います。

<点検方法>

- ①地域の代表者(各学区の各種団体の長等)に対するアンケート調査
- ②左京区まちづくり活動支援交付金の交付団体等、区内でまちづくり活動に取り組んでいる方からの意見聴取
- ③左京区内で実施した本市事業(23～26年度)のうち、基本計画の推進に係る事業を抽出し、その進捗状況を把握
- ④区民アンケート(無作為抽出)により、15の分野に関する達成度等の実感を調査

その他、必要に応じて、

- ・全市実施の市民生活実感調査の結果から左京区民分を抽出し、23年度と26年度の結果を比較
- ・本市事業を客観的な数値で示した指標のうち、区ごとに集計可能なものから、15の分野の評価に相応しい指標につき、23年度と26年度の数値を比較

した結果等も参考にしながら、これまでの取組状況の達成度の確認・点検をするとともに、計画当初に想定していなかった新たな課題や、計画当初より深刻になった課題を洗い出し、計画の中間点検を行います。また、点検結果を、今後の取組に繋げていきます。

意見交換内容(抜粋)

- ・計画の点検にあたっては、新たに出てきた、または直近で起こり得る問題点を見つけ出すことも重要。
- ・左京区北部山間地域では高齢化・人口減少は危機的であると実感している。
- ・高齢化・人口減少は、都市部でも、高齢者が買い物に行けないという買い物難民の問題や、人口減少のため近くの店がコンビニやファストフード等の店舗だけになり、食生活が偏るという、食育の問題ももたらす。
- ・修学旅行で、地域ならではの魅力を体験できるといったことができるとうい。



平成26年度取組の進捗状況 (10月末時点)

主な事業の進捗

左京の自然を愛でるプロジェクト ～チマキザサの再生を左京から

- ・市民参加のワークショップで防鹿柵の設置やチマキザサの防鹿柵内への移植を実施
- ・高倉小学校(112名)と花背小中学校(7名)が花背山の家で交流イベント



まちの居場所でほっとプロジェクト@左京

- ・「左京区まちの居場所塾」第1回(9/27, 参加者30名), 第2回(10/25, 参加者18名)を実施

久多地域の支え合い, 助け合いのまちづくり ～ボランティア乗合タクシーの通年運行

- ・ワークショップの開催(3回, 64人)
- ・ボランティア乗合タクシー運行実験を実施(10回)

アウトドア婚活・山村都市めぐり愛ツアー

- ・山村都市交流の森にて婚活ツアーを実施(10/15)
応募人数:男性46名, 女性65名, 合計111名
参加人数:男性16名, 女性16名, 合計32名
カップル成立数:4組(参加者数の25.0%)

意見交換内容(抜粋)

- ・「チマキザサの再生を左京から」については, 防鹿柵等, 着実に整備ができてきていると感じる。鹿に食べられる心配がないぐらいの大きさに育ってほしい。
- ・地産地消イベントについて, 現在, 「左京旬の朝市」を開催しているが, 区内で地元産のものを売っている場所・店などを調べて広報する, といった新たな方法も今後検討してはどうか。
- ・「アウトドア婚活」について, 年齢が高い方の申込みが多かったということで, 今後はそこに力を入れるべきかもしれない。
- ・小学生等が狂言を鑑賞する取組は, 回数を増やしたり, 学校教育に限らず家庭を巻き込むなども検討してはどうか。

平成27年度予算案について (11月10日時点案)

平成27年度の区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算については, 「左京区まちづくり活動支援交付金」や「みんなでつくる左京朝カフェ～朝からつながるまちづくり」, 「防災対策を通じた地域コミュニティの強化モデル事業」などの事業につき, より効果的な内容となるよう見直しを行う予定です。

意見交換内容(抜粋)

- ・伝統文化や地産地消の関係で, 今後「食育」も扱ってはどうか。
- ・食育といえば, 京都府立大学でも京都和食文化研究センターが10月にできたという動きがある。
- ・「アウトドア婚活」について, 年齢層を分けて2回開催するか, または1回であれば年齢層を上げるというのがよいと思う。高い年齢の方であれば, 里山などにも興味がある人が多いと思う。古民家活用と合わせて考えることもできるのではないかと。
- ・防災対策について, 非常時のためだけでなく, 日常の中で, 地域の人同士が顔を合わせて地域の魅力を楽しみながら知るような取組ができるとよい。
- ・何か取組をするときは, 地元住民と一緒にしないと, 1回だけのイベントとなってしまう。次に繋げるためには地元住民との協力が大事。

左京区を応援してください!

京都市では, 京都を愛する多くの皆様の御協力を頂戴することにより, 京都の貴重な文化, 美しい景観や自然, そして素晴らしい地球環境を大切に, 次の世代に引き継いでいくため, 「だいすきっ! 京都。寄付金」を設けています。確定申告することにより, 所得税及び住民税の寄付金控除が受けられます。

平成26年度に「左京区の地域振興」のためにいただいた御寄付は, 平成27年度以降の左京区のまちづくりのために活用させていただきます。引き続き, みなさまからの御支援をよろしくお願い致します。

※平成25年度は約72万円の御寄付をいただきました。

ご寄付の際には, 用途を「**地域振興(左京区)**」とご指定ください。

